

志望校合格を目指す生徒とそのご父母のための大学進学情報紙

# TOSHIN TIMES

9/1  
トーンタイムズ  
2017年 9月1日号  
毎月1日発行

## This month's Headlines

「志望校対策」だけでは不十分  
「基礎力」あつての志望校合格  
徹底した志望校対策が  
合否を分ける

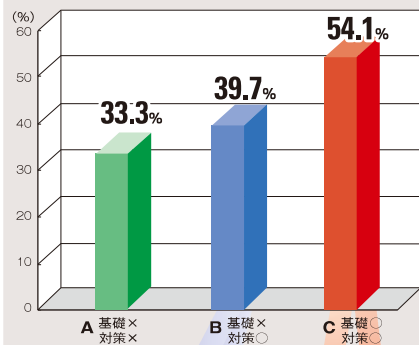
- 第一志望合格のための志望校対策の生かし方 ..... 02
- 東進自慢の実力講師陣が贈る珠玉のメッセージ
- 9月の学習アドバイス【英語/数学/小論文/化学/地理】 ..... 04
- 大学受験入門講座
- 学部・学科選びの基礎知識 ..... 06
- 第4回 夏の教育セミナーレポート ..... 08
- 学びの極意 東京都 私立 女子学院中学校・高等学校 ..... 15



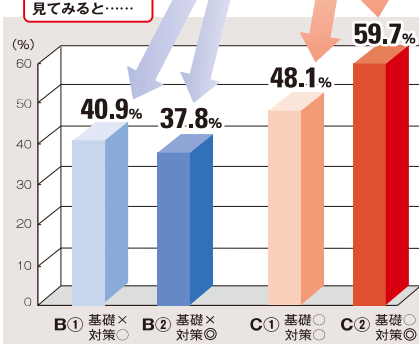
夢は大きく、  
目標は高く。

やっぱり最後は志望校対策。でも、(基礎力○)と(志望校対策○)で  
 ことな違っ合格格率約6割!!

### 「基礎力○」かつ「対策○」で合格率大幅アップ! 資料1 国立大(前期)の現役合格率



「対策○」のBとCをさらに細かく見てみると……



徹底した志望校対策が、合格へのカギ!

### 資料2 志望校対策徹底度による合格率の差

【データについて】  
 ※1 「基礎力」は、東進の「東進基礎マスター講座」英語センター1800、英語センター750、英文250の習得率、かつ2018年10月の「全国統一高校生テスト」(センター試験本番レベル)で5教科7科目の得点率が70%以上の受験生を「基礎○」とした。  
 ※2 「志望校対策」は、国立二次レベルの記述対策に前向き、東進の志望校対策特別講座の「記述型答案練習講座」を4講座以上受講し、80%以上答案を提出していた場合、「対策○」とした。  
 ※3 「徹底した志望校対策」は、「対策○」に加え、再読別冊でも活用していた場合を対象とし、表記は「対策○」とした。

まずは資料1を見てほしい。これは、2017年に国立大を受験した生徒の合格率を調べたものである。今回は「基礎力×」の有無により、受験生を3つのグループに分けて、検証を行った。合格者の全国平均が39.0%つまり全国すべ

ての受験者の約5人に2人が合格であるのに対し、基礎力と志望校対策のどちらも十分な東進生(グループC)の合格率は54.1%と上昇し、全国平均の約1.4倍の合格率となった。一方、基礎力、志望校対策ともに不十分なグループAの合格率は、33.3%であった。また、

グループBは志望校対策を行ったものの基礎力が不十分なグループであるが、その合格率は39.7%にとどまった。大学受験において基礎力が土台となり、志望校対策が生きてくる。両方がそろってこそ志望校合格に近づけることが改めてはつきりした。

今回の分析結果から言えることは大きく3つ。まず、国立大といえども重要なのは「基礎力」。そして基礎ができたうえで、「徹底した志望校対策」で合格に近づける。受験生は、さっさと秋から志望校対策を本格的にスタートさせてほしい。基礎力がまだ不十分という受験生は10ポイント以上も高かった。また、基礎力が不十分である生徒は、志望校対策を徹底的に行っても合格率は上がらなかった。

また、国立大といえども重要なのは「基礎力」。そして基礎ができたうえで、「徹底した志望校対策」で合格に近づける。受験生は、さっさと秋から志望校対策を本格的にスタートさせてほしい。基礎力がまだ不十分という受験生は10ポイント以上も高かった。また、基礎力が不十分である生徒は、志望校対策を徹底的に行っても合格率は上がらなかった。

**「志望校対策」だけでは不十分  
「基礎力」あつての志望校合格**

受験生諸君は夏休み中に、入試科目全範囲をひととおり終わらせることを目標として頑張ってきたことだろう。そして9月、いよいよ受験勉強の次なるステージに入った。今月号では、入試のカギを握る「志望校対策」を取り上げ、その重要性の検証を行った。その結果、明らかとなった難関大志望者必見の事実を紹介しよう。  
 【関連記事P.23】

続いて、志望校対策の取り組み度合いが合格率に影響するかを検証するために、グループB・グループCをさらに分析した(資料2)。その結果、基礎力が十分であった受験生のうち、「徹底した志望校対策」を行った受験生は59.7%あり、そうでない受験生(グループC①)と比較して合格率は10ポイント以上も高かった。また、基礎力が不十分である生徒は、志望校対策を徹底的に行っても合格率は上がらなかった。